



*Cross the Border*

私たちは情報通信社会を支える越境商社です



2020年5月期 第3四半期決算補足説明資料

ダイコー通産株式会社

2020年4月7日

証券コード：7673

# 1. 2020年5月期 第3四半期決算概要

## 業績予想に修正はなく、計画通りに推移しております

(単位：百万円)

|            | 2019年5月期<br>第3四半期実績 | 2020年5月期         |        |        |       | (参考) 2019年5月期 |       |
|------------|---------------------|------------------|--------|--------|-------|---------------|-------|
|            |                     | 第3四半期実績          | 増減率    | 通期計画   | 進捗率   | 通期実績          | 進捗率   |
| 売上高        | 11,630              | 11,323           | ▲2.6%  | 15,880 | 71.3% | 15,044        | 77.3% |
| 売上総利益      | 1,804<br>(15.5%)    | 1,768<br>(15.6%) | ▲2.0%  | 2,492  | 70.9% | 2,374         | 76.0% |
| 営業利益       | 596<br>(5.1%)       | 520<br>(4.6%)    | ▲12.8% | 801    | 64.9% | 750           | 79.5% |
| 経常利益       | 580<br>(5.0%)       | 527<br>(4.6%)    | ▲9.0%  | 812    | 64.9% | 718           | 80.7% |
| 四半期(当期)純利益 | 375<br>(3.2%)       | 352<br>(3.1%)    | ▲6.3%  | 515    | 68.3% | 460           | 81.5% |

## 2020年5月期 第3四半期実績について

## ①売上高・売上総利益

前期2019年5月期第2四半期まで、2018年5月期の売上増加要因となった大型案件(特需)売上が継続していたため、当期2020年5月期第3四半期累計の実績は、前年同期をわずかに下回っておりますが、この四半期3カ月間(12月～2月)におきましては、日常売上、案件売上ともに堅調に推移し、前年同期間の実績を上回っております。なお、第2四半期と比較して、前期比との乖離率は縮小しております。(3頁参照)

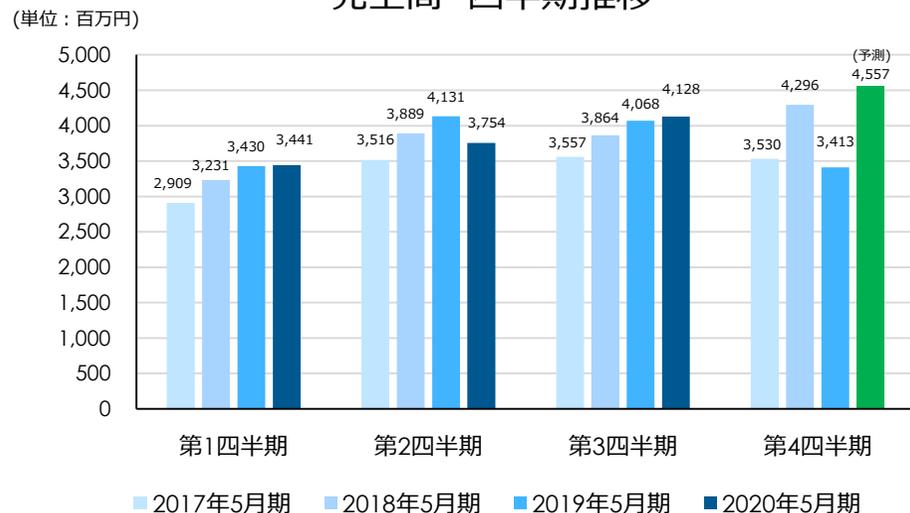
## ②営業利益

人件費及び上場関連費用等の増加が営業利益を押し下げておりますが、これらの販売費及び一般管理費の増加は計画に織り込んでいるものであり、特別な支出はありません。

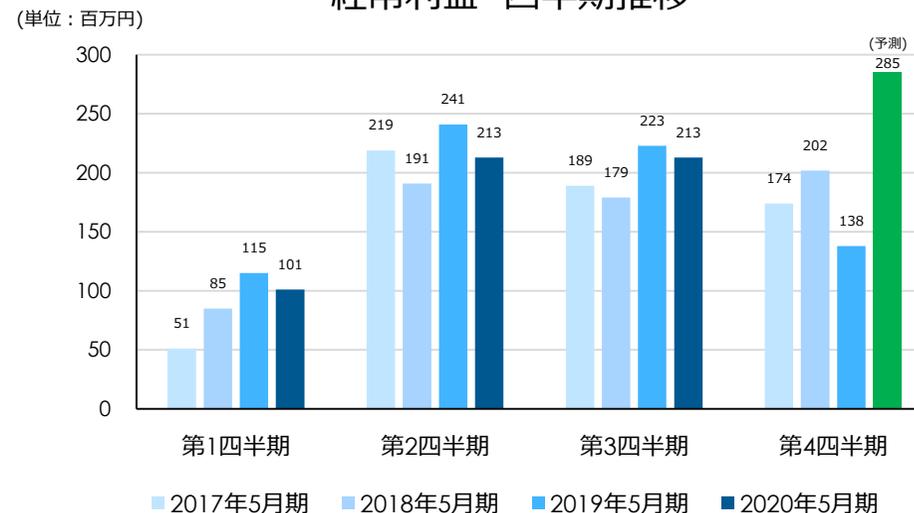
上記の各項目とも、大型案件(特需)売上を計上した前年同期実績を下回っておりますが、2020年5月期は、例年に比べ第4四半期の売上高進捗率が高くなると予測しているため、前年実績を上回る当期の通期業績予想に変更はありません。

第3四半期の進捗率は、計画通りに推移しております

売上高 四半期推移



経常利益 四半期推移



| 売上高進捗率   | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 2017年5月期 | 21.5% | 26.0% | 26.4% | 26.1% |
| 2018年5月期 | 21.1% | 25.5% | 25.3% | 28.1% |
| 2019年5月期 | 22.8% | 27.5% | 27.0% | 22.7% |
| 2020年5月期 | 21.7% | 23.6% | 26.0% | —     |

| 経常利益進捗率  | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 2017年5月期 | 8.2%  | 34.5% | 29.8% | 27.5% |
| 2018年5月期 | 13.0% | 29.1% | 27.2% | 30.7% |
| 2019年5月期 | 16.0% | 33.6% | 31.1% | 19.3% |
| 2020年5月期 | 12.6% | 26.2% | 26.2% | —     |

※2020年5月期進捗率は、2020年5月期予算に対するものです。

業績予想に対する進捗率について

- ①売上高・経常利益ともに、第1四半期が相対的に少なくなる傾向を有しております。
- ②2019年5月期の第1・第2四半期は、2018年5月期から続く大型案件(特需)売上の影響を受けております。
- ③2020年5月期においては、売上高、経常利益ともに第4四半期の進捗率が高くなると予測しております。

## 2. 2020年5月期業績予想

## 2020年5月期決算は、増収増益を見込んでいます

(注) 直近に公表しております業績予想からの修正はありません。

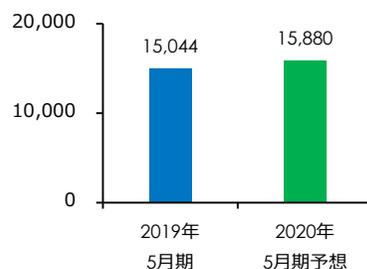
顧客基盤、取扱い商品数の拡充に加え、イベント需要としてFTTH案件、第5世代移動通信システム基地局整備案件や基地局間を結ぶ光伝送路案件、防災無線デジタル化案件獲得に取り組んでまいります。

(単位：百万円)

|       | 2019年5月期<br>(通期) 実績 | 2020年5月期<br>(通期) 予想 | 前期比 |       |
|-------|---------------------|---------------------|-----|-------|
|       |                     |                     | 増減額 | 増減率   |
| 売上高   | 15,044              | 15,880              | 835 | 5.6%  |
| 売上総利益 | 2,374<br>(15.8%)    | 2,492<br>(15.7%)    | 117 | 5.0%  |
| 営業利益  | 750<br>(5.0%)       | 801<br>(5.0%)       | 51  | 6.9%  |
| 経常利益  | 718<br>(4.8%)       | 812<br>(5.1%)       | 93  | 13.0% |
| 当期純利益 | 460<br>(3.1%)       | 515<br>(3.2%)       | 55  | 12.0% |

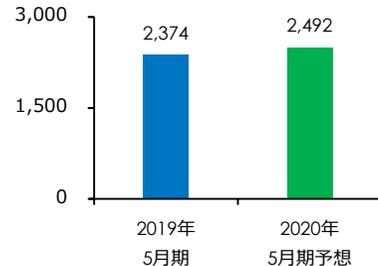
売上高

(単位：百万円)



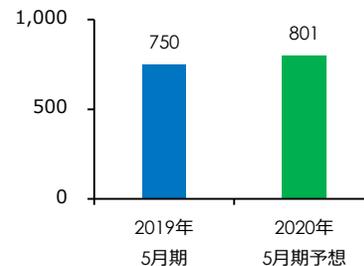
売上総利益

(単位：百万円)



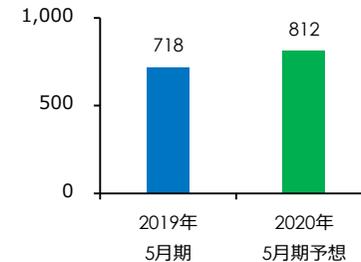
営業利益

(単位：百万円)



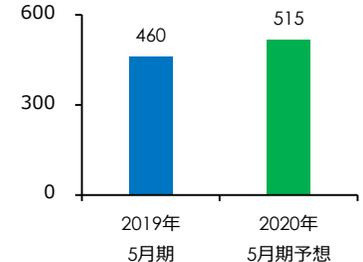
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



### 3. トピックス

## 新型コロナウイルス感染症による影響

このたびの新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

■当社における新型コロナウイルス感染症の影響につきまして、現時点での状況は、以下のとおりです。

### 仕入

- ・ 海外直接仕入(中国)の商品に、納期遅延は発生しておりません。
- ・ 日本国内仕入の商品は、一部商品に出荷遅延が生じているものの、数品目で限定的であります。

### 売上

一部の案件において、一時的な工事の自粛や延期の情報が入っております。

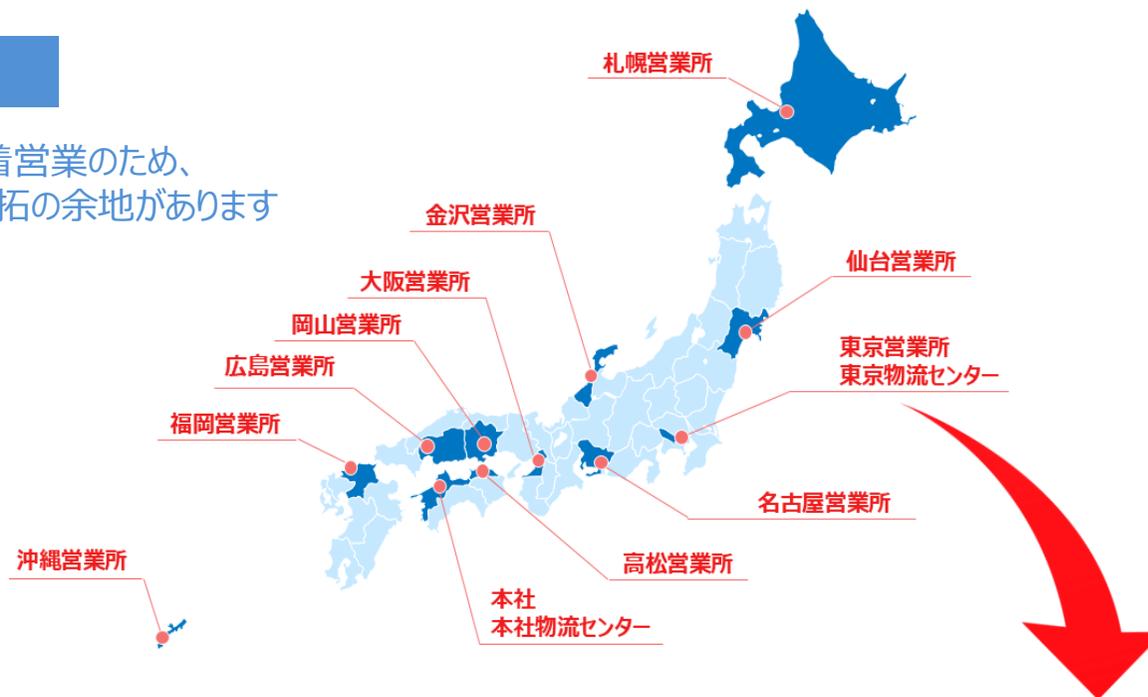


商品納期や案件工期の後ずれ等により、**当期(2020年5月期)の業績へ影響を与える可能性はありますが、現時点において、その影響は軽微であるため、直近に公表しております業績予想からの修正はありません。**

## 営業・物流拠点の新築・移転計画の進捗

## 地域開拓

更なる地域密着営業のため、  
まだまだ新規開拓の余地があります



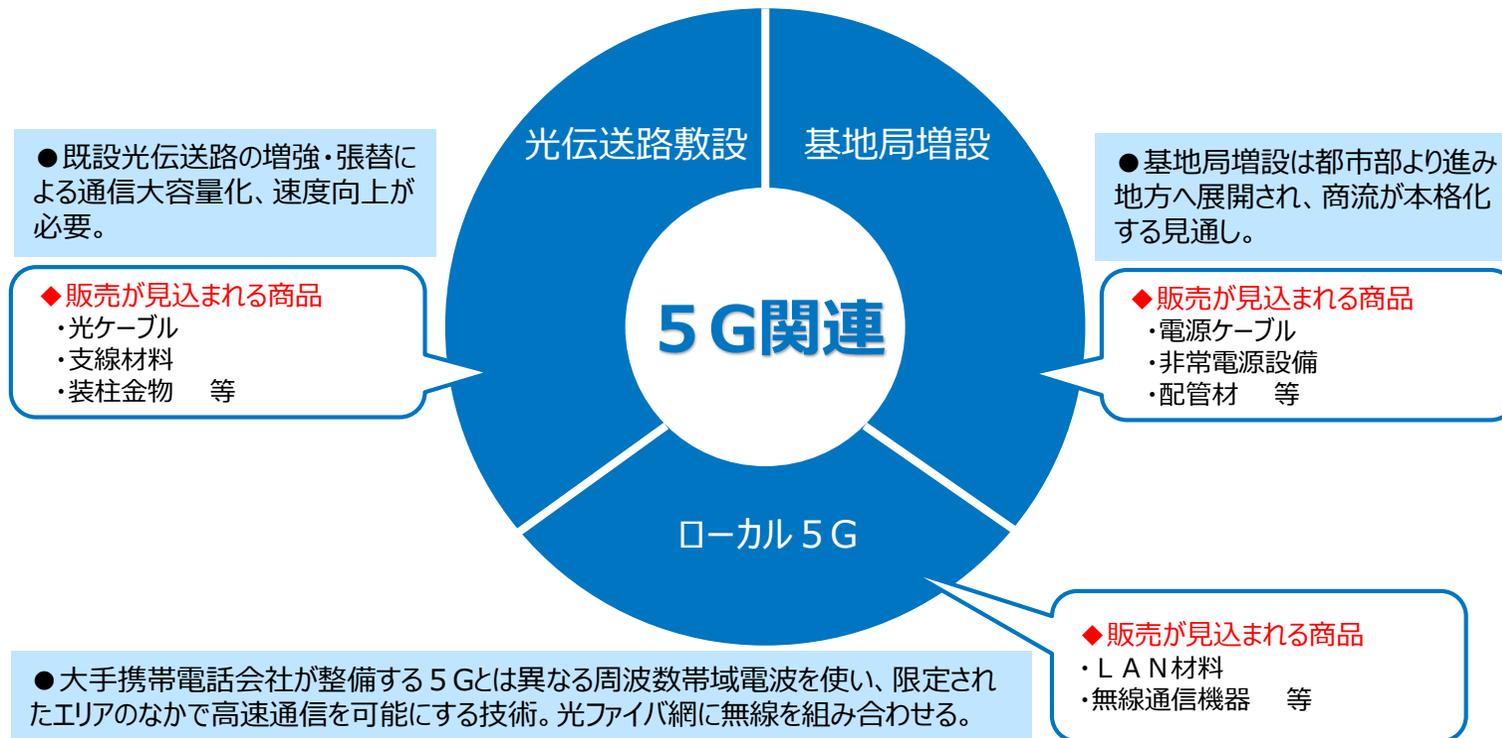
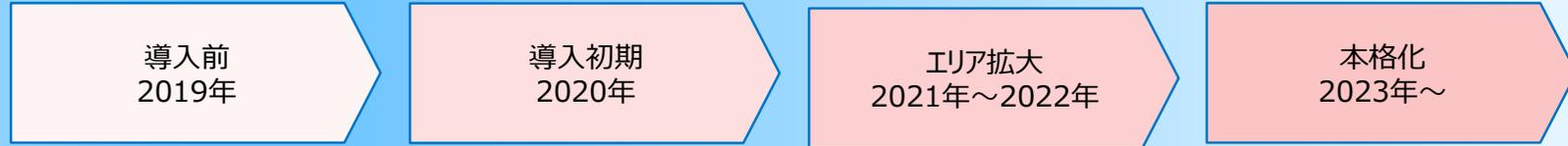
## 営業・物流拠点の新築・移転計画

東京営業所及び東京物流センター拡充のため、東京都東部エリアを中心に物件を選定中（完成予定2021年5月期）

需要が増加している東日本ブロックにおける物流網の拡充のため、東京営業所・東京物流センターの新設（営業設備・倉庫設備としての稼働は2021年5月期予定）を計画し、2020年5月期中の土地の取得に向け、東京都東部エリアを中心に物件を選定してまいりましたが、当社の希望条件（物流の利便性、従業員の通勤、設備の広さ等）に見合う物件が、現時点において見当たらないため、土地の取得時期が2021年5月期にずれ込む見通しです。なお、2020年5月期の業績予想への影響はありません。

## 5Gの現況と、販売が見込まれる当社取扱商品について

## 5Gサービス普及の見通し



5Gの実現のためにはバックボーンとなる光ファイバの整備や基地局の増設、無線通信環境の構築が必要であり、必然的に当社ビジネスと密接な関係にあります。

## 【注意事項】

- ◆ 本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。
- ◆ 本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。
- ◆ 資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。
- ◆ 本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

### 【お問合せ先】

ダイコー通産株式会社  
管理部 IR担当  
TEL：089-923-6644

The logo for DAIKO, featuring the word "DAIKO" in a bold, blue, sans-serif font. The letters "D", "A", and "I" are connected, and the "K" and "O" are also connected. The "O" has a slight shadow effect.